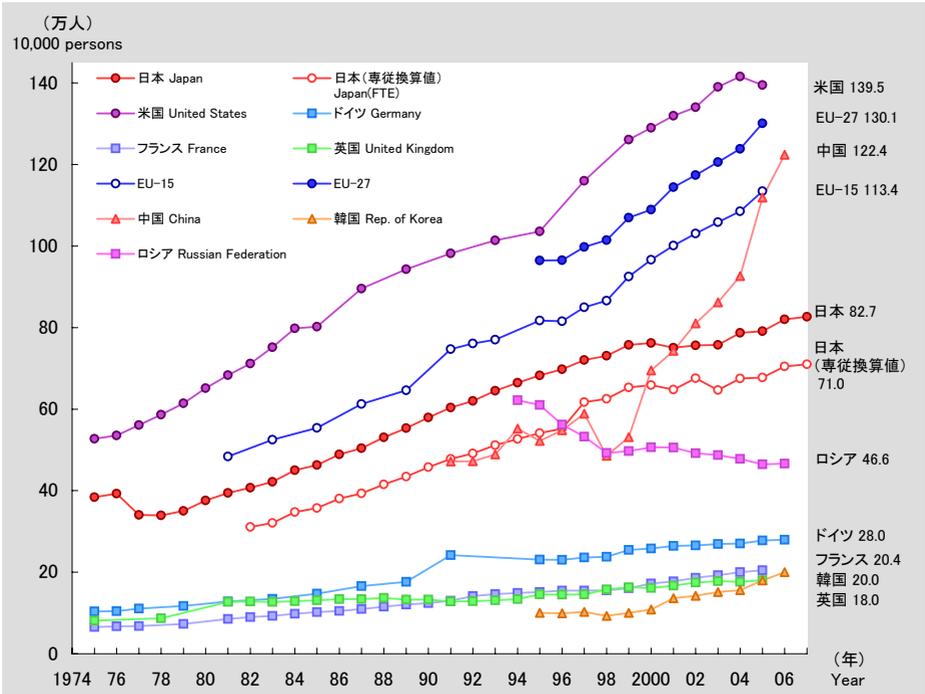


1. 研究者数 Researchers

1-1 主要国等の研究者数の推移

Trends in the number of researchers in selected countries



- 注) 1. 国際比較を行うため、各国とも人文・社会科学を含めている。  
 2. 日本は2001年以前は4月1日現在、2002年以降は3月31日現在。  
 3. 日本の専従換算値の1996年以前は、OECDによる推定値。  
 4. ドイツの2006年は暫定値。  
 5. 英国は、1983年までは産業(科学者と技術者)及び国立研究機関(学位取得者又はそれ以上)の従業者の計で、大学、民営研究機関は含まれていない。  
 6. EUはOECDの推計値。

資料: 日本: 総務省統計局「科学技術研究調査報告」

日本(専従換算値)、米国、フランス、英国、ドイツ、韓国、中国、EU-15、EU-27:

OECD「Main Science and Technology Indicators」

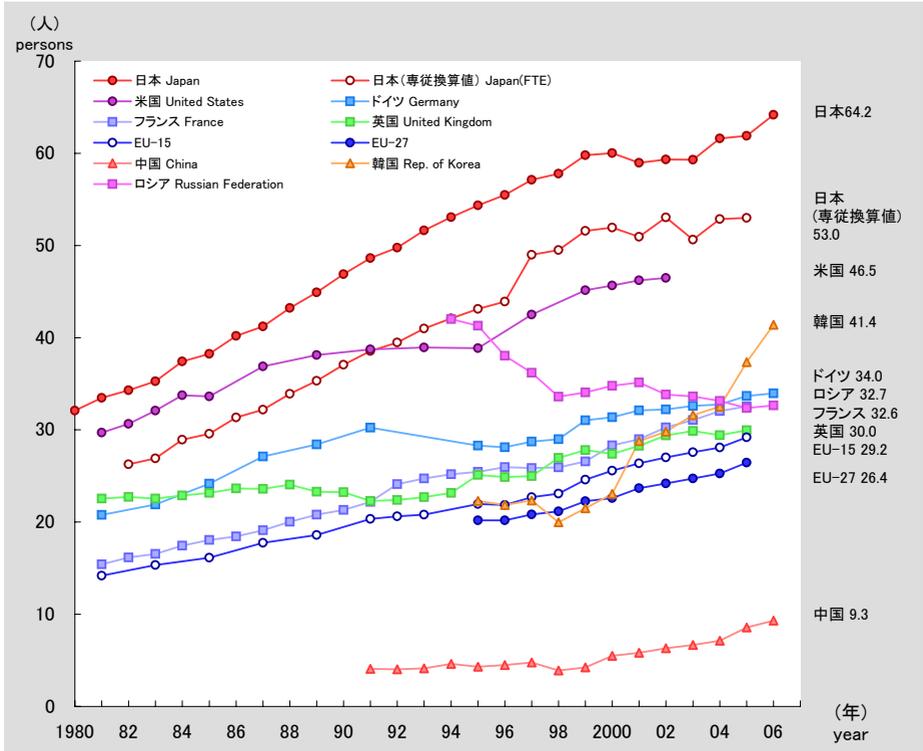
参照: 日本: III 1. 1-9、米国: III 1. 1-1、ドイツ: III 1. 1-2、フランス: III 1. 1-3、イギリス: III 1. 1-4、  
 欧州連合(EU-15): III 1. 1-5、欧州連合(EU-27): III 1. 1-6、中国: III 1. 1-7、韓国: III 1. 1-8、  
 ロシア: III 1. 1-9

## 1-2 主要国等の人口及び労働力人口 1万人当たりの研究者数の推移

Trends in the number of researchers per 10,000 people and per 10,000 laborers in selected countries

## 1-2-1 主要国等の人口 1万人当たりの研究者数

Trends in the number of researchers per 10,000 people



注) 1. 国際比較を行うため、各国とも人文・社会科学を含めている。

2. 日本の研究者数は2001年以前は4月1日現在。2002年以降は3月31日現在。

3. EUはOECDの推計値。

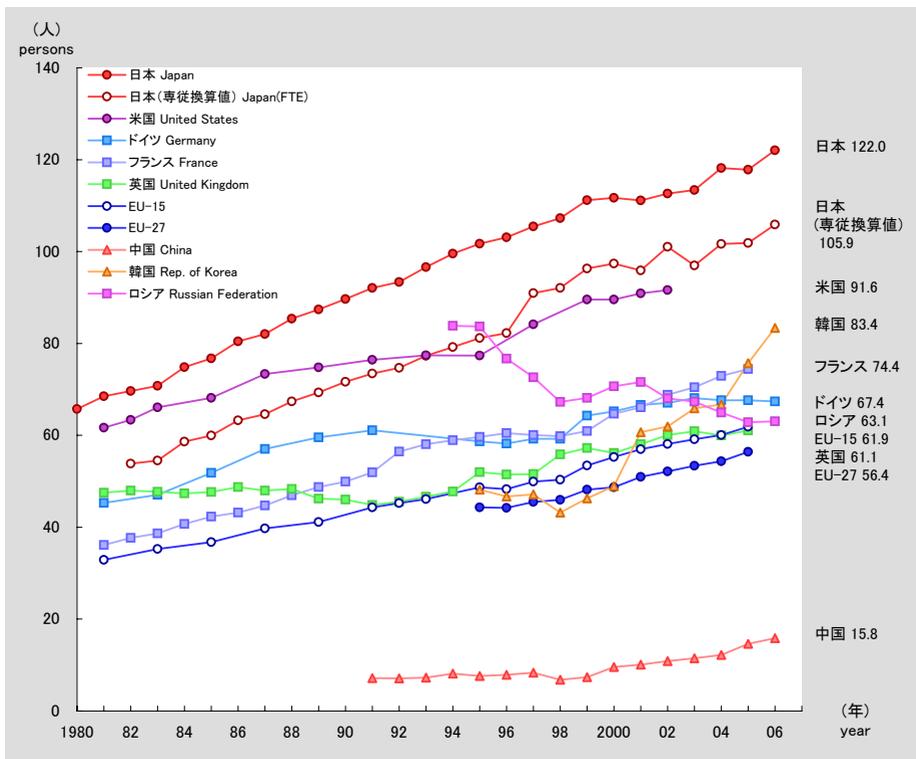
資料: 研究者数はI ii 1-1に同じ。

人口及び労働力人口は、日本は総務省統計局「人口推計資料」(各年10月1日現在)及び「労働力調査報告」。

日本の専従換算値を含むその他の国はOECD「Main Science and Technology Indicators」。

1-2-2 主要国等の労働力人口 1 万人当たりの研究者数

Trends in the number of researchers per 10,000 laborers



- 注) 1. 国際比較を行うため、各国とも人文・社会科学を含めている。  
 2. 日本の研究者数は2001年以前は4月1日現在。2002年以降は3月31日現在。  
 3. EUはOECDの推計値。

資料: 研究者数は I ii 1-1に同じ。

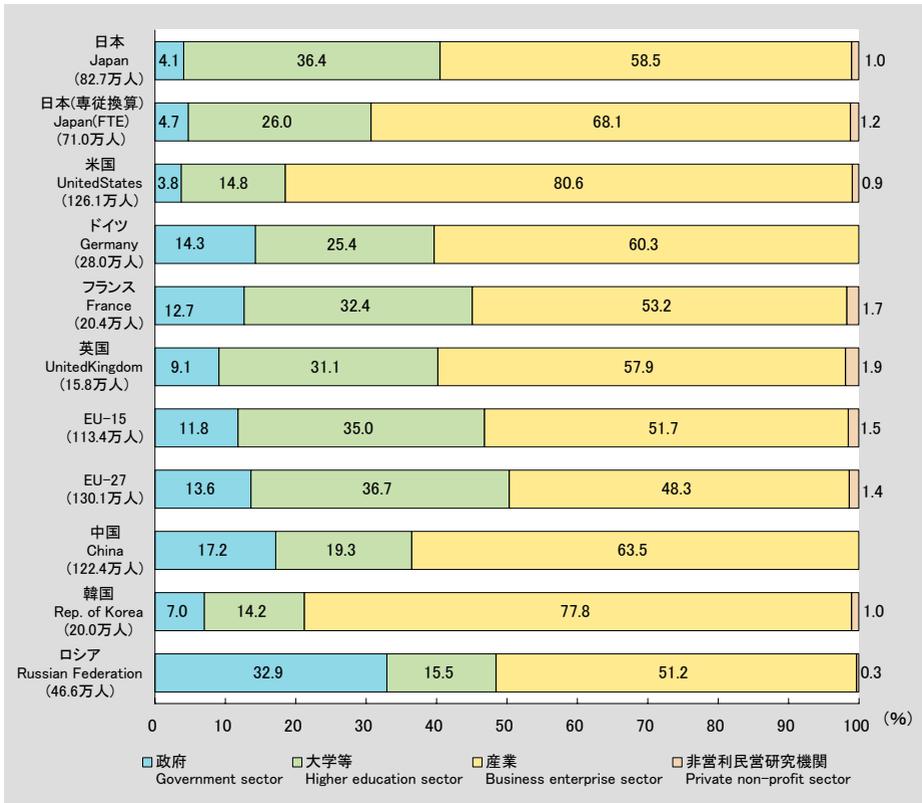
人口及び労働力人口は、

日本は総務省統計局「人口推計資料」(各年10月1日現在)及び「労働力調査報告」、

日本の専従換算値を含むその他の国はOECD「Main Science and Technology Indicators」。

## 1-3 主要国等の研究者数の組織別割合

Composition of researchers by sector in selected countries



注) 1. 国際比較を行うため、各国とも人文・社会科学を含めている。

なお、日本については2007年3月31日現在の公的機関、大学等、企業等、及び非営利団体についての値で、専従換算の値を併せて表示している。

2. 日本の専従換算の値は総務省統計局データ。

3. 日本は2007年、米国は1999年度、ドイツは2006年度、フランスは2005年度、英国は1998年度、EUは2005年度の推計値、中国は2006年度、韓国は2006年度、ロシアは2006年度。

4. ドイツの「民営研究機関」の研究者数は、「政府研究機関」に含まれている。

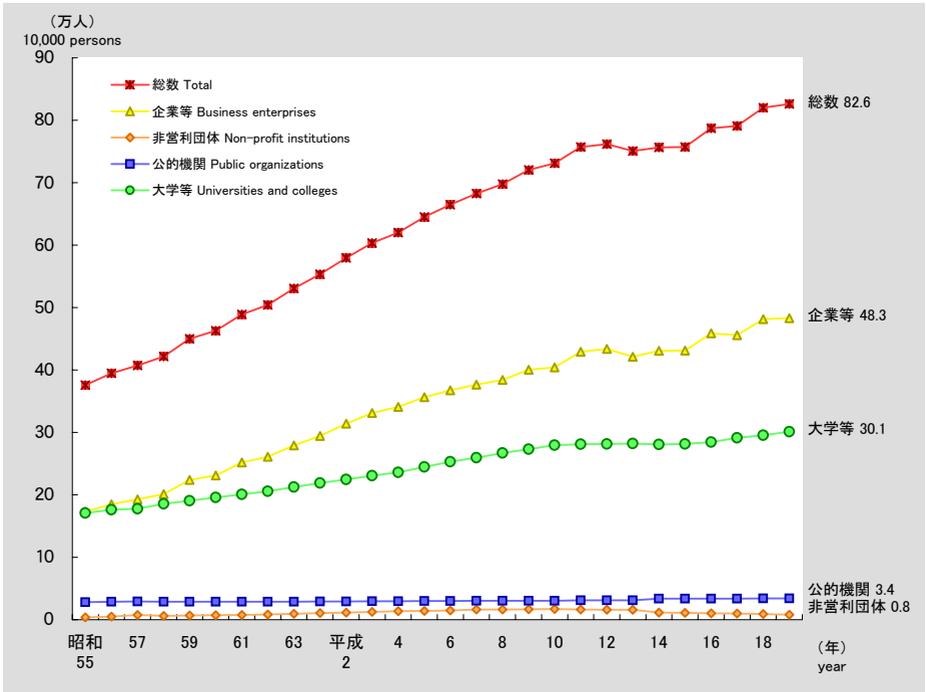
資料：日本 総務省統計局「科学技術研究調査報告」

その他 OECD「Main Science and Technology Indicators」

参照：Ⅲ. 4. 4-1

日本 Ⅱ1. 1-9、米国 Ⅲ8. 8-1-4、欧州連合 Ⅲ8. 8-2-4、ドイツ Ⅲ8. 8-3-4、フランス Ⅲ8. 8-4-4、イギリス Ⅲ8. 8-5-4、中国 Ⅲ8. 8-6-4、韓国 Ⅲ8. 8-7-4、ロシアⅢ8. 8-9-3

1-4 我が国の組織別研究者数の推移 Trends in the number of research sector in Japan



注) 1. 人文・社会科学を含む3月31日現在の値である(ただし、平成13年までは4月1日現在の値。)  
 2. 平成14年から調査区分が変更されたため、平成13年まではそれぞれ次の組織の研究本務者の数値である(ただし、大学等は、兼務者を含む。)

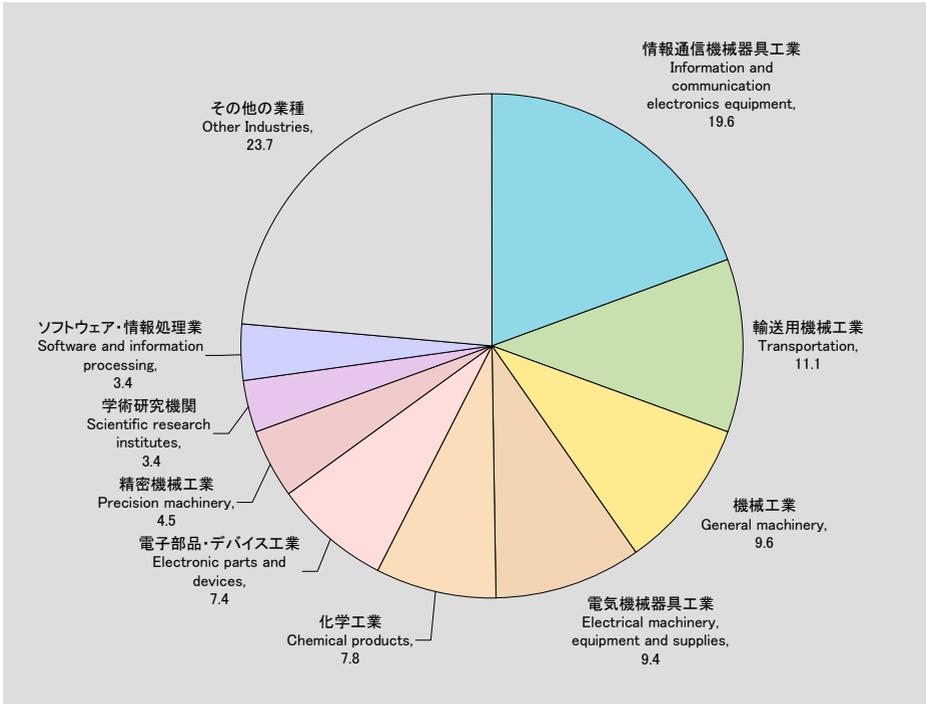
平成14年より	平成13年まで
企業等	会社等
非営利団体	民営研究機関
公的機関	民営を除く研究機関
大学等	大学等

参照: II 1. 1-9  
 資料: 総務省統計局「科学技術研究調査報告」

## 1-5 我が国の企業等の研究者数 Business enterprises researchers in Japan

## 1-5-1 我が国の企業等の研究者の産業別構成比（平成 19 年）

Composition of the number of business enterprises researchers by type of industry (2007)

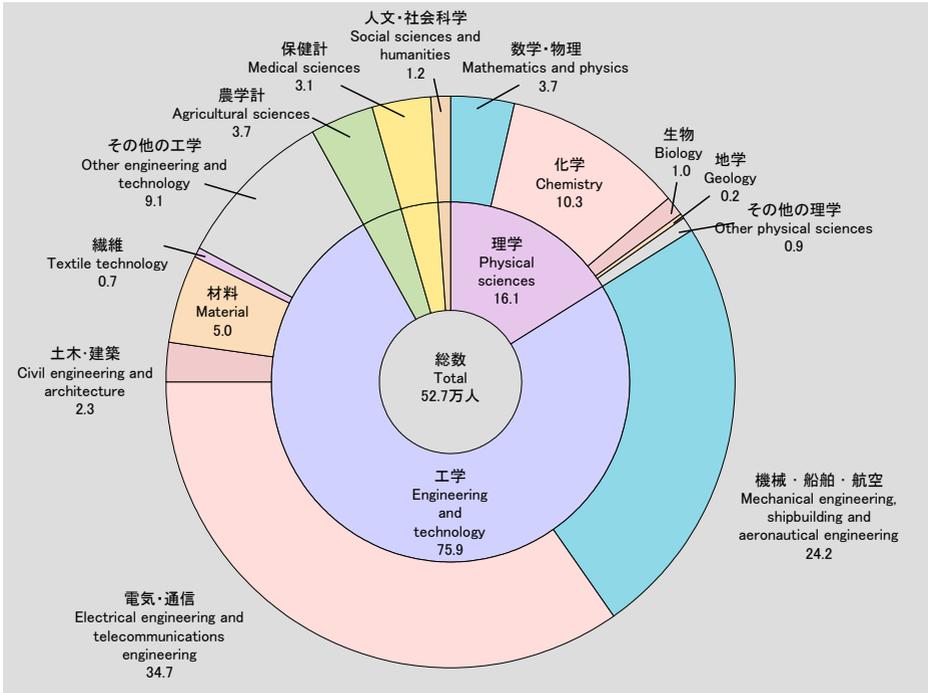


参照: II 2. 2-6

資料: 総務省統計局「科学技術研究調査報告」

1-5-2 我が国の企業等の研究者の専門別構成比（平成 19 年）

Composition of the number of business enterprises researchers by field of science and specialty (2007)



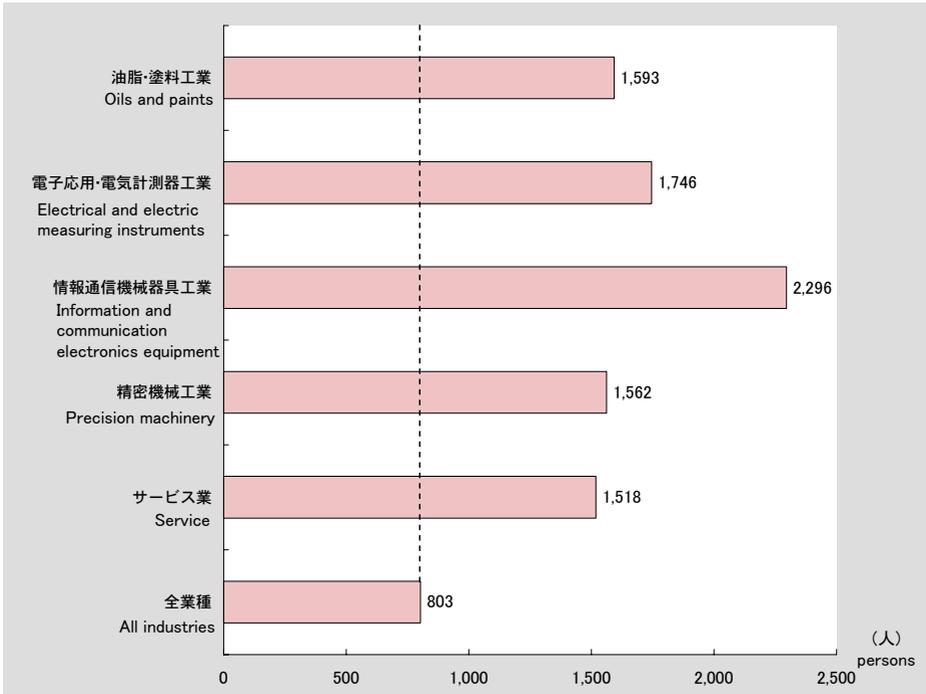
注) 数字は企業等全体の研究者の人数(実数)に占める割合(%)である。

参照: II 2. 2-7

資料: 総務省「科学技術研究調査報告」

## 1-5-3 我が国の企業等における従業者 1 万人当たりの研究者数（学術研究機関を除く上位 5 業種）（平成 19 年）

Number of business enterprises researchers per 10,000 employees (Top five industrial categories except scientific research institutions) (2007)



注) 1. 「従業者 1 万人当たりの研究者数」の従業者及び研究者数は平成 19 年 3 月 31 日現在の値である。

2. 学術研究機関 (1 万人当たり 5,470 人) は、グラフ上に示していない。

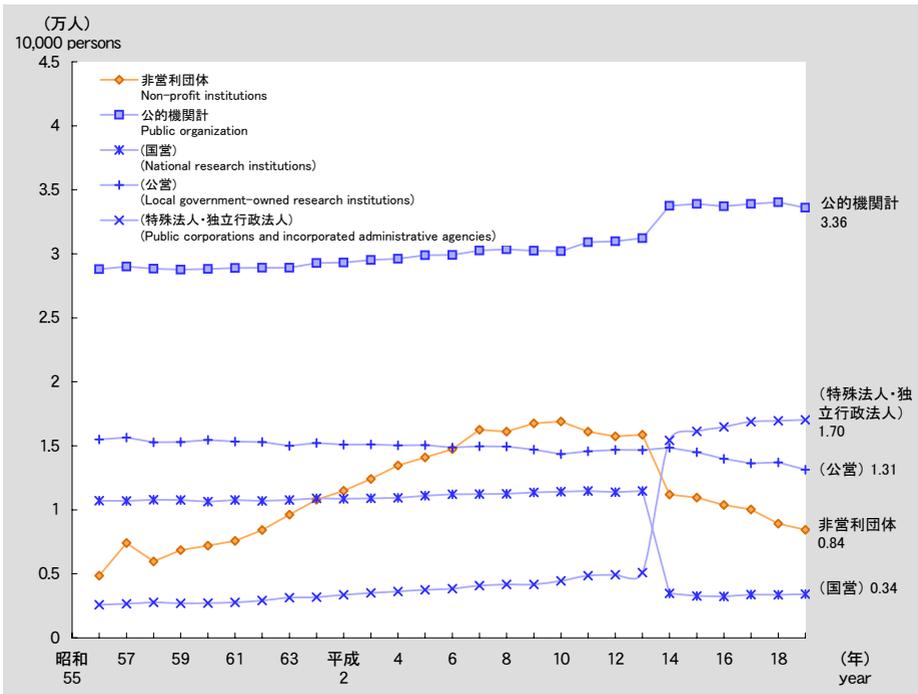
資料: 総務省「科学技術研究調査報告」

1-6 我が国の非営利団体・公的機関の研究者数

Non-profit institutions and public organizations researchers

1-6-1 我が国の非営利団体・公的機関の研究者数の推移

Trends in the number of non-profit institutions and public organizations researchers



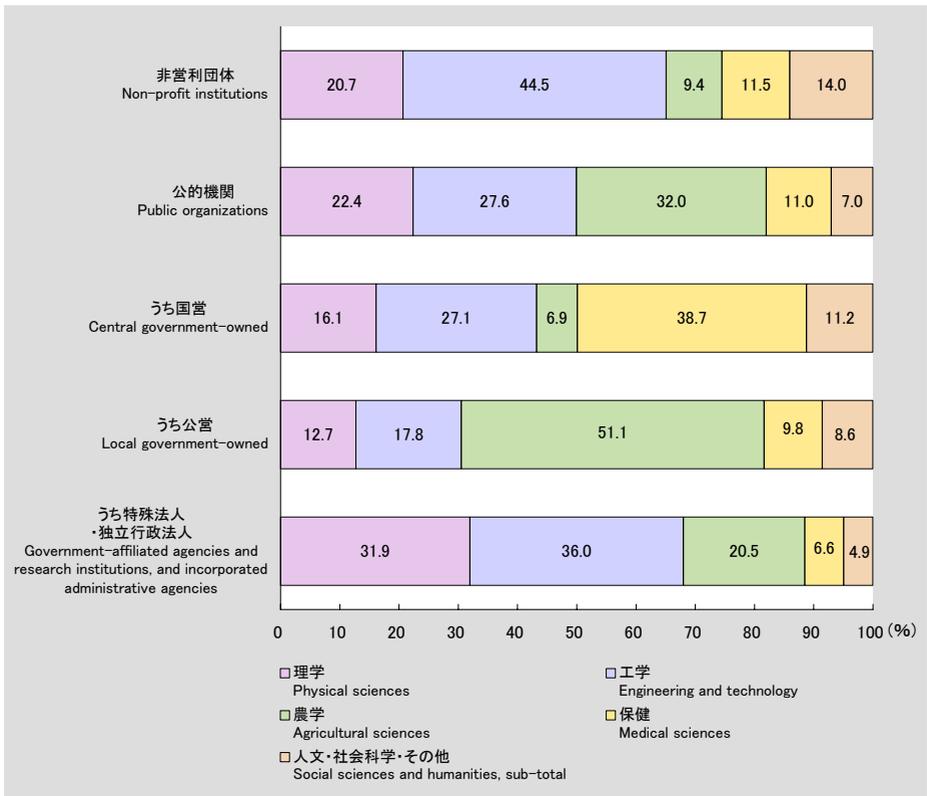
注) 1. 人文・社会科学を含む3月31日現在の値である(ただし、平成13年までは4月1日現在の値。)  
 2. 平成14年から調査対象区分が変更されたため、平成13年までの非営利団体は、民営研究機関の数値を使用している。  
 3. 平成13年までは研究本務者数である。

参照: II 3. 3-4

資料: 総務省「科学技術研究調査報告」

## 1-6-2 我が国の非営利団体・公的機関の研究者の専門別構成比（平成19年）

Composition of non-profit institutions and public organizations researchers by kind of organization and of science (2007) (Head-counts)



注) 研究者数は実数で、平成19年3月31日現在。

研究者数(実数)を専門的知識の別によって区分したものである。

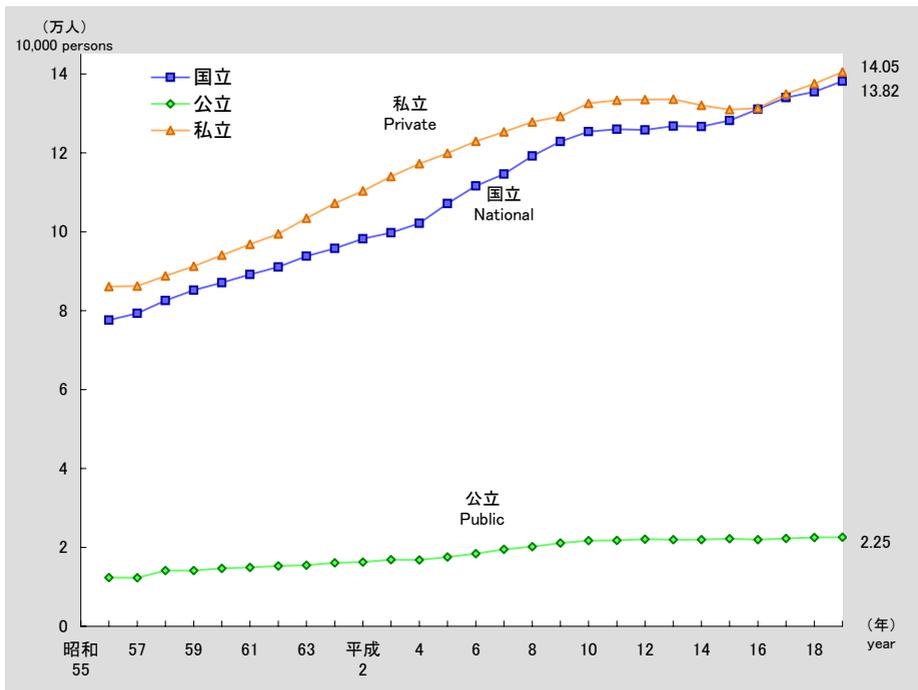
参照: II 3. 3-5

資料: 総務省「科学技術研究調査報告」

1-7 我が国の大学等の研究者数 Universities and colleges researchers in Japan

1-7-1 我が国の大学等の研究者数の推移

Trends in the numbers of universities and colleges researchers

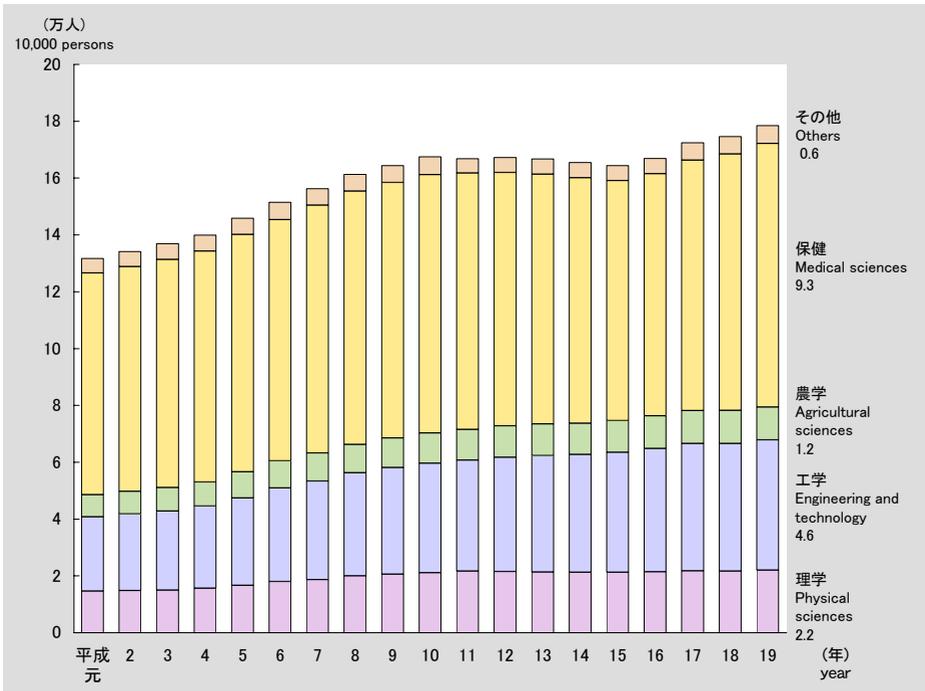


注) 人文・社会科学を含む3月31日現在の値である(ただし、平成13年までは4月1日現在の値。)  
兼務者を含む。

資料: 総務省統計局「科学技術研究調査報告」

## 1-7-2 我が国の大学等の専門別研究本務者数の推移

Trends in the number of regular researchers at universities and colleges by field of science



注) 各年次とも、学問が自然科学の大学等のみの3月31日現在の値である(ただし、平成13年までは4月1日)。  
研究者数(実数)を専門的知識の別によって区分したものである。

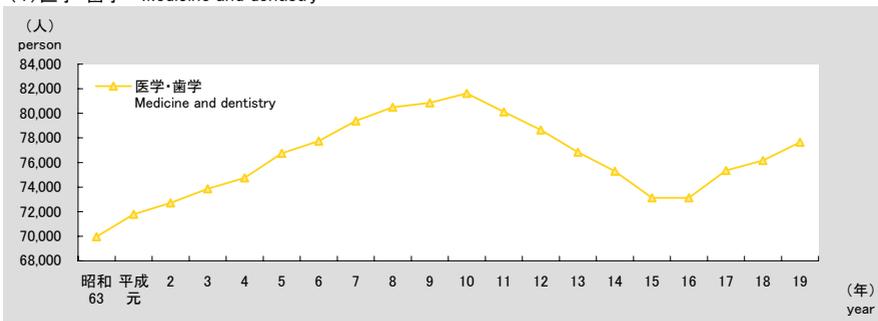
参照: II 4. 4-6

資料: 総務省統計局「科学技術研究調査報告」

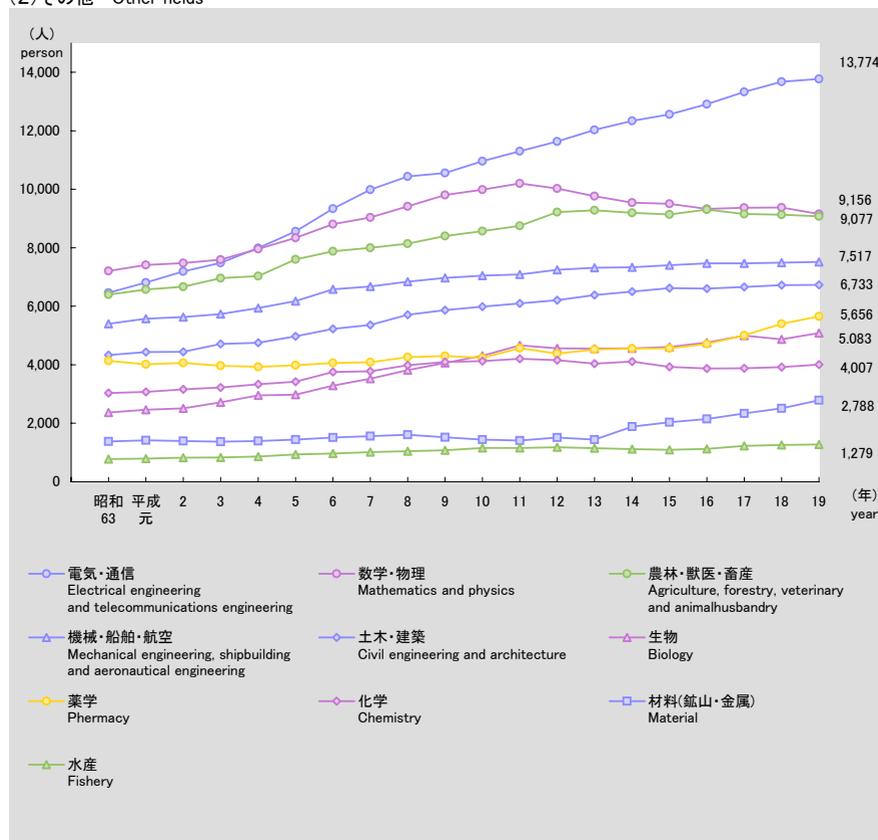
1-7-3 我が国の大学等の専門別研究本務者数の推移（詳細）

Trends in the number of regular researchers at universities and colleges by field of speciality

(1) 医学・歯学 Medicine and dentistry



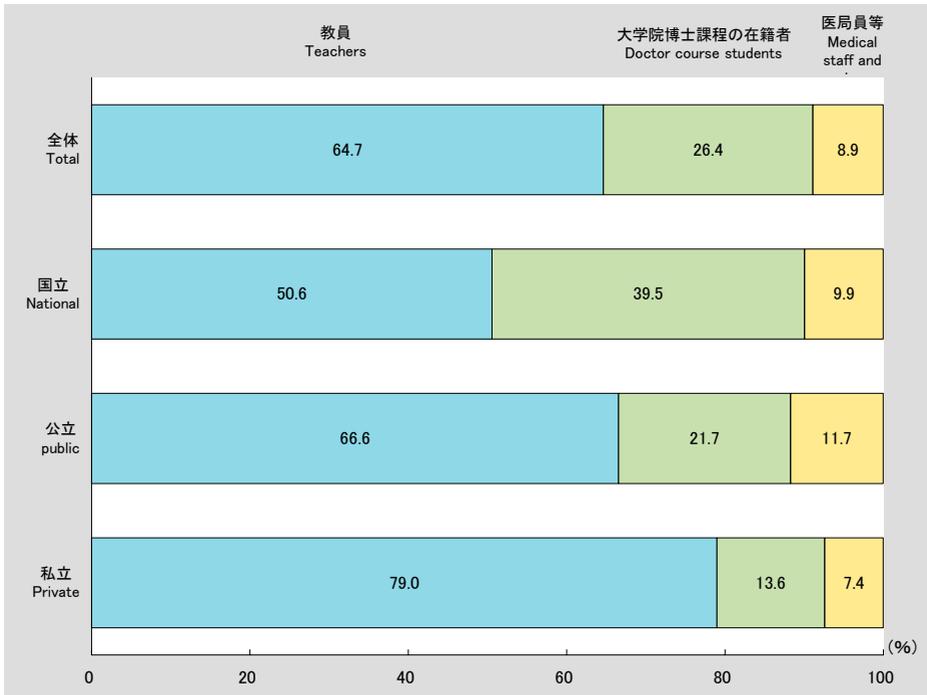
(2) その他 Other fields



注) 1. 各年次とも自然科学のみの3月31日現在の値である(ただし、平成13年までは4月1日。)  
 2. 「鉱山・金属」は、平成14年以降は、「材料」となり、材料工学、素材工学、材料プロセス工学などが追加されている。  
 資料: 総務省「科学技術研究調査報告」

## 1-7-4 我が国の大学等の研究本務者の職種別構成比（平成19年）

Composition of regular researchers in universities and colleges (2007)

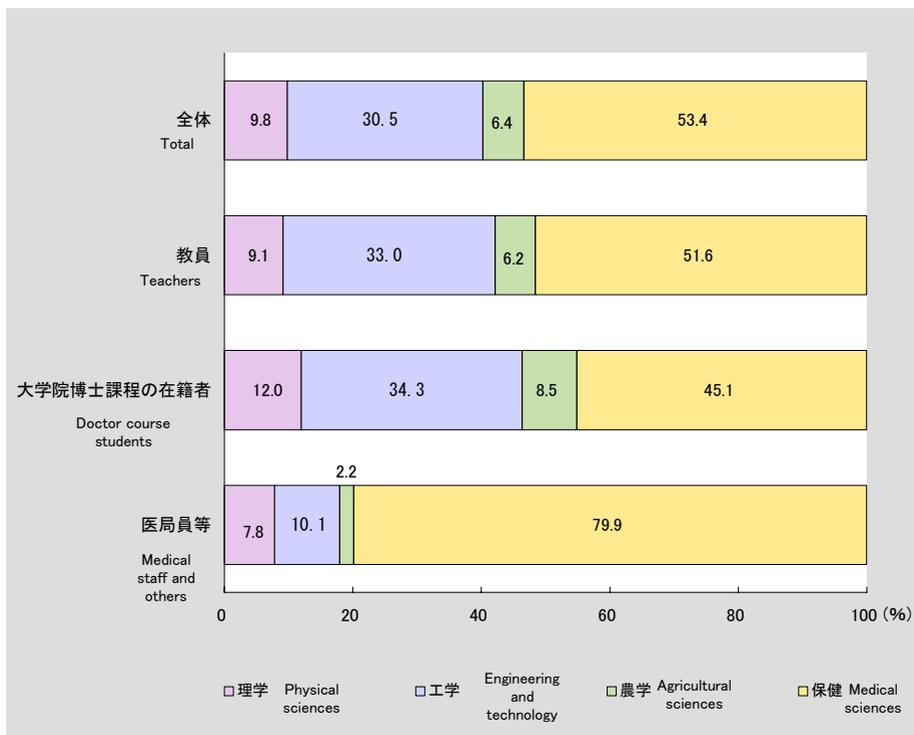


注) 人文・社会科学を含む。平成19年は3月31日現在。

参照: II 4. 4-5

資料: 総務省統計局「科学技術研究調査報告」

1-7-5 我が国の大学等の研究本務者の自然科学における学問別構成比（平成 19 年）  
Composition of regular researchers in natural sciences and engineering at universities and colleges by specialty (2007)



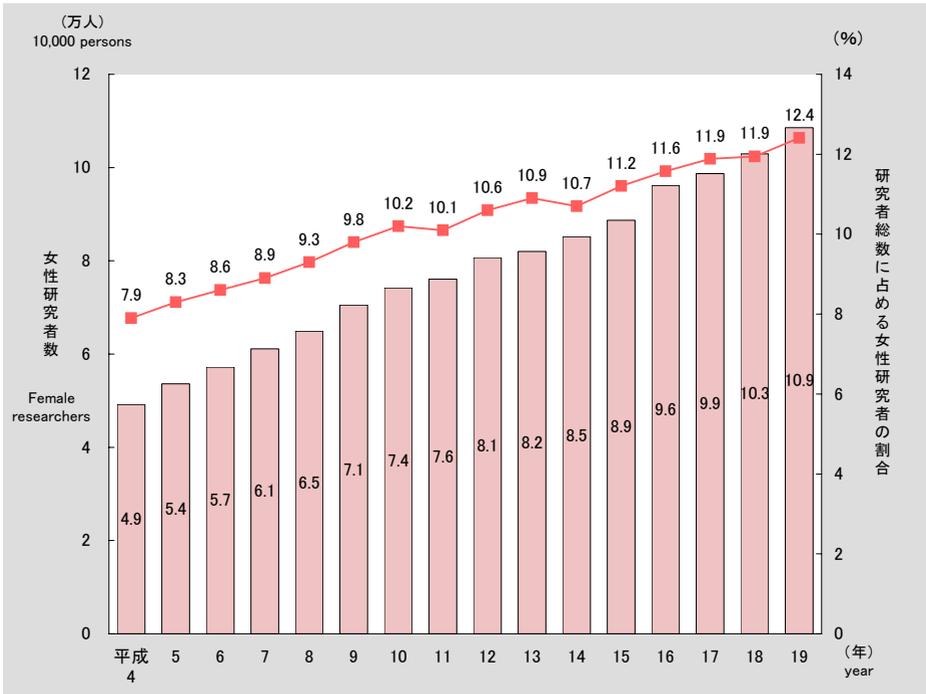
注) 平成19年3月31日現在。

参照: II 4. 4-5

資料: 総務省「科学技術研究調査報告」

## 1-8 我が国の女性研究者数と研究者総数に占める女性研究者の割合の推移

Trends in the number of female researchers and a percentage of national total in Japan

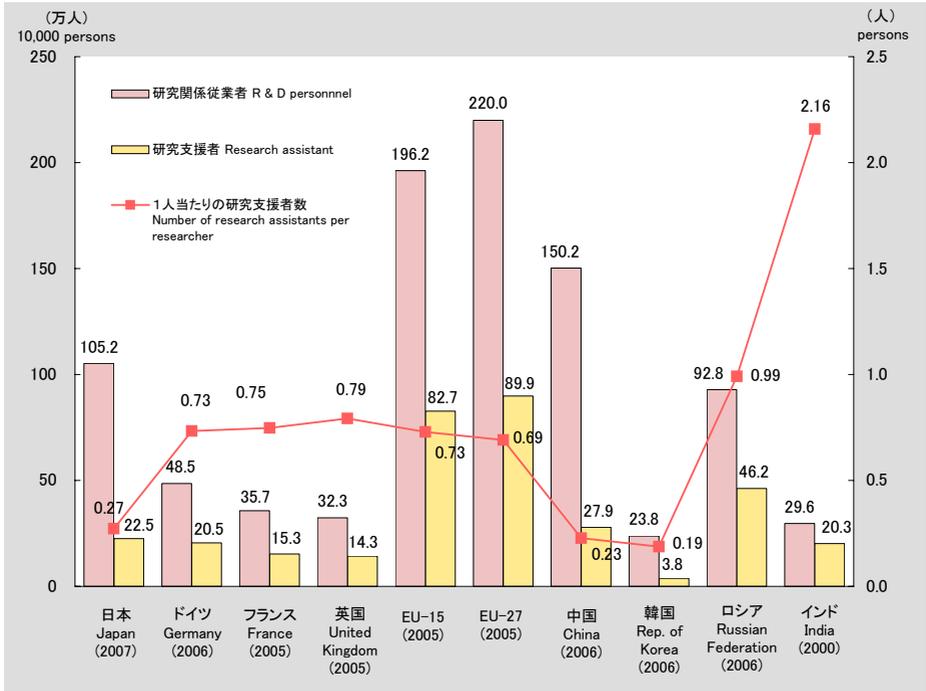


注) 各年次とも人文・社会科学を含む3月31日現在の値である(ただし、平成13年までは4月1日。)  
資料: 総務省「科学技術研究調査報告」

2. 研究関係従業者数 Persons employed in R&D

2-1 主要国等の研究者 1 人当たりの研究支援者数

Number of research assistants per researcher in selected countries



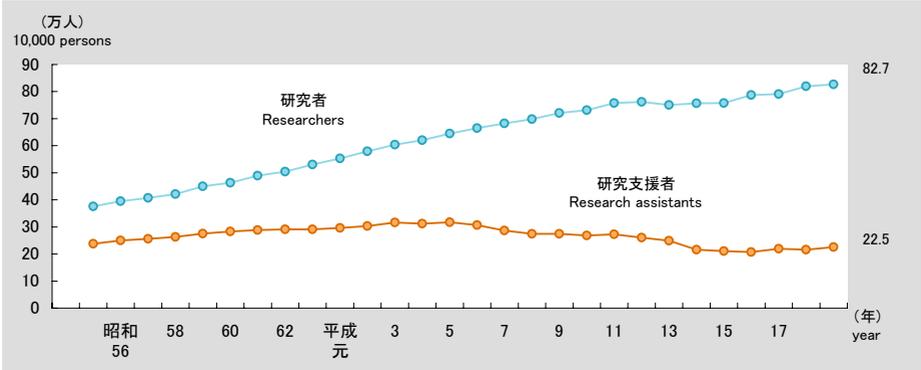
- 注) 1. 国際比較を行うため、各国とも人文・社会科学を含めている。  
 2. 研究支援者とは、研究者を補助する者、研究に付随する技術的サービスを行う者及び研究事務に従事する者で、日本では研究補助者、技能者及び研究事務その他の関係者である。  
 3. EUはOECDの推計値である。  
 4. インドの研究関係従業者数は科学技術庁発表のデータによると、1998年で95428人、2000年で93836人となっている。

資料: 日本:総務省統計局「科学技術研究調査報告」  
 インド:インド科学技術庁  
 その他はOECD「Main Science and Technology Indicators」

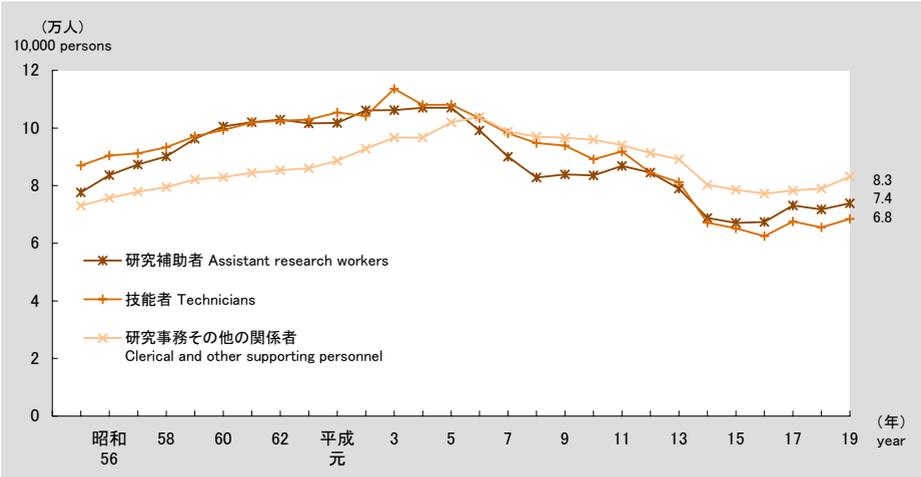
## 2-2 我が国の研究関係従業者数の推移

Trends in the number of persons employed in R&amp;D in Japan

## (1) 研究者・研究支援者数の推移 Trends in the number of researchers and research assistants



## (2) 研究支援者の内訳の推移 Trends in the number of research assistants



注) 各年次とも人文・社会科学を含む3月31日現在の値である(ただし、平成13年までは4月1日。)

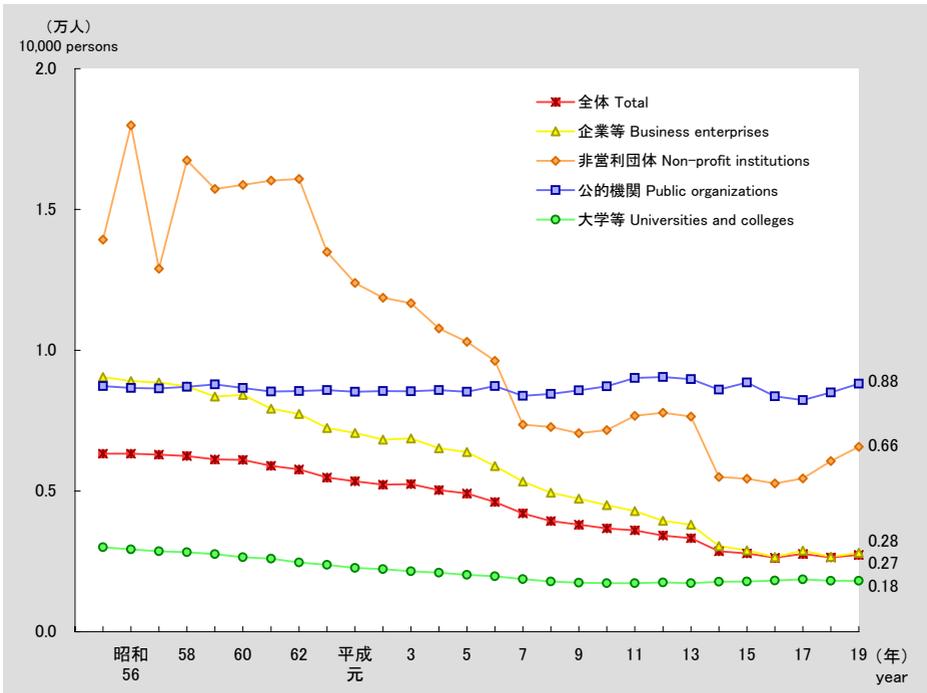
平成13年までの研究者は研究本務者である(ただし、大学等は兼務者を含む。)

研究支援者は、研究補助者、技能者及び研究事務その他の関係者である。

資料: 総務省「科学技術研究調査報告」

## 2-3 我が国の研究者 1 人当たりの研究支援者数の推移

Trends in the number of research assistants per researcher in Japan



注) 1. 研究者数、研究支援者数は、各年次とも人文・社会科学を含む3月31日現在の値である  
(ただし、平成13年までは4月1日。)

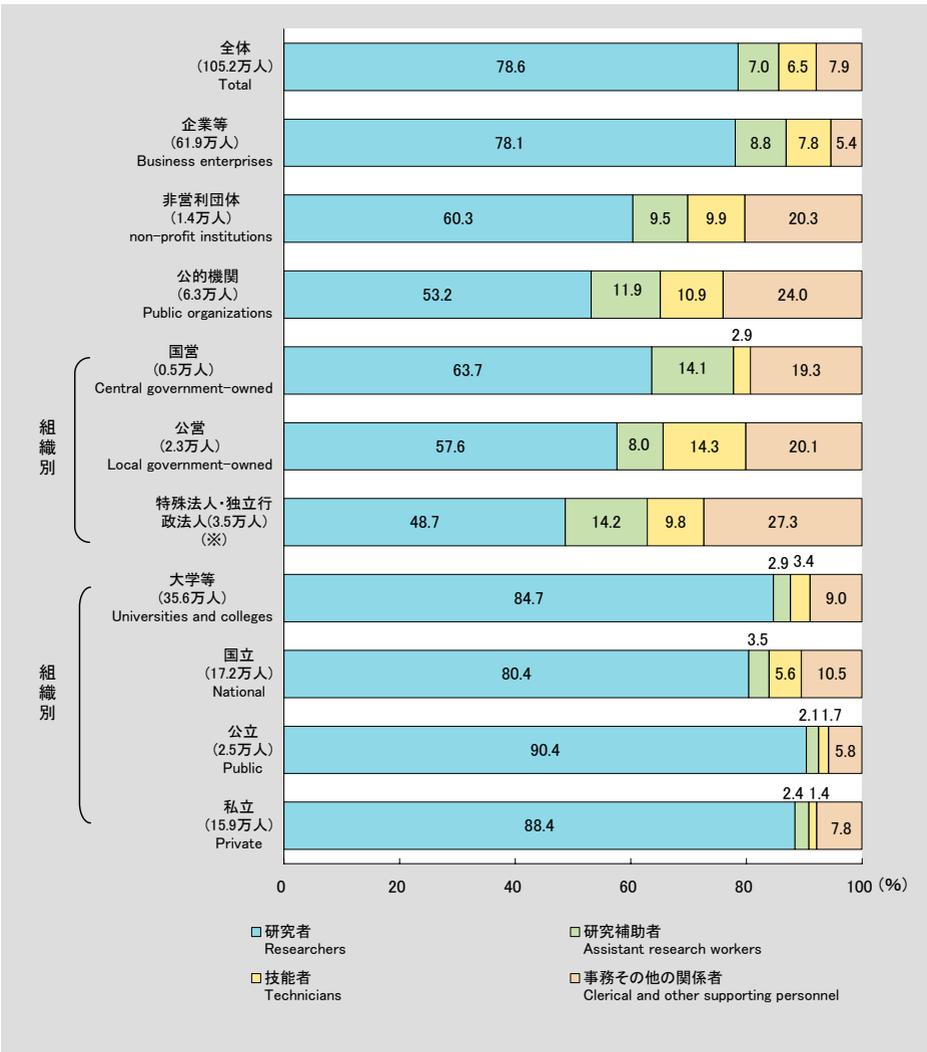
2. 平成14年から調査区分が変更されたため、平成13年まではそれぞれ次の組織の数値である。

参照: II 1. 1-8

資料: 総務省「科学技術研究調査報告」

## 2-4 我が国の研究関係従業者の組織別構成比（平成 19 年）

Composition of persons employed in R&amp;D by research sector and kind of organization in Japan (2007)



注)各研究従事者数は、人文・社会科学を含む平成19年3月31日現在の値である。

資料:総務省「科学技術研究調査報告」

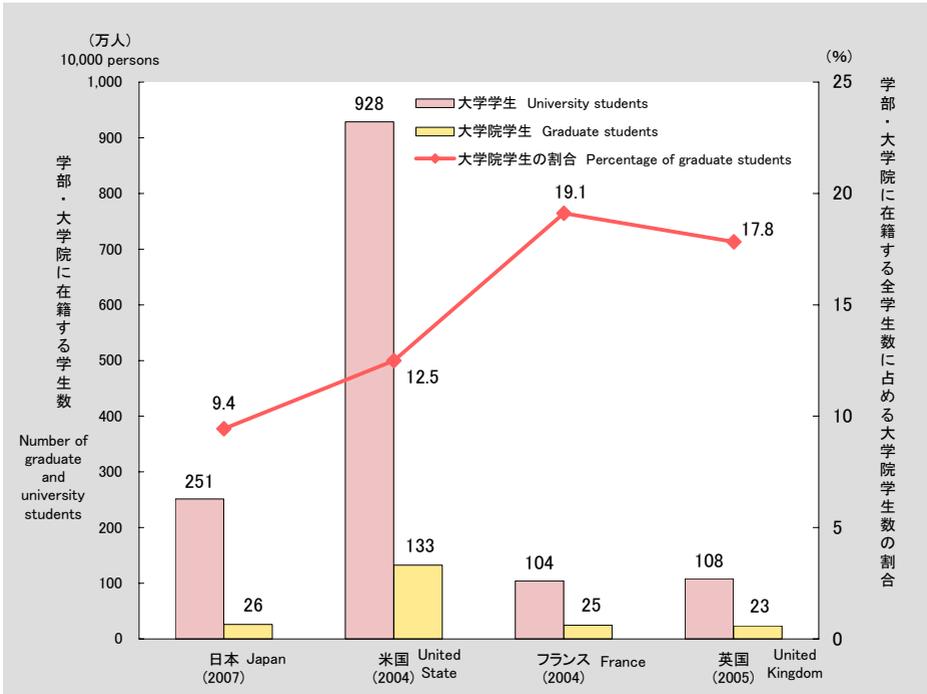
(※) Government-affiliated agencies and research institutions, and incorporated administrative agency

## 3. 研究人材の輩出と雇用 Production and employment of R&amp;D personnel

## 3-1 研究人材の輩出 Production of R&amp;D personnel

## 3-1-1 主要国の学部・大学院に在籍する全学生数に占める大学院学生数の割合

Number of graduate and university students, and percentage of graduate students in selected countries

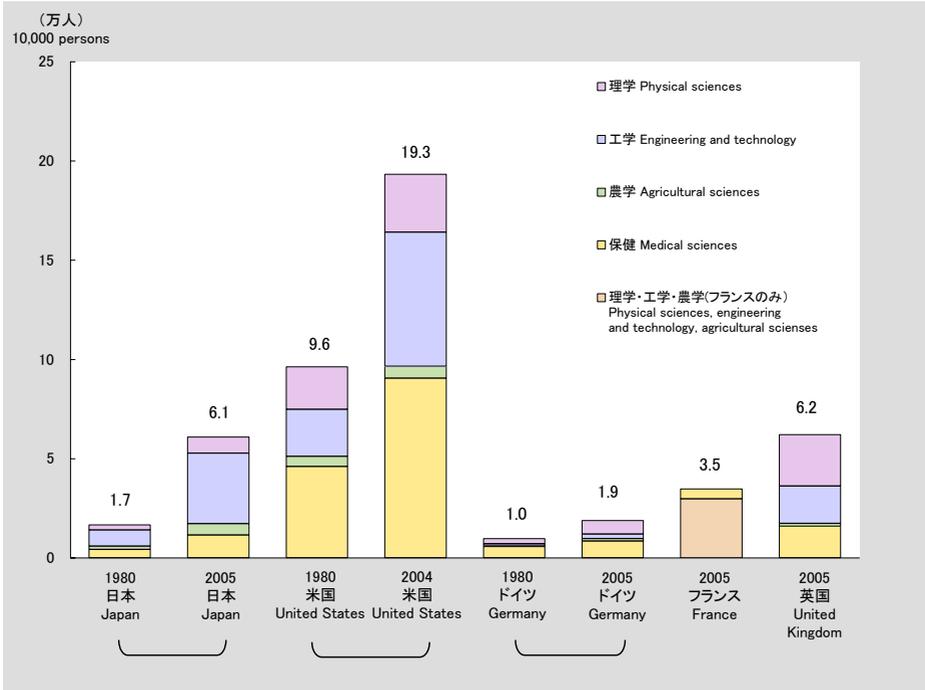


注) 米、英に関してはフルタイム在学者の数である。

資料: 文部科学省「教育指標の国際比較 (平成20年版)」

## 3-1-2 主要国の学位取得者数（自然科学系）（全体（大学院段階））

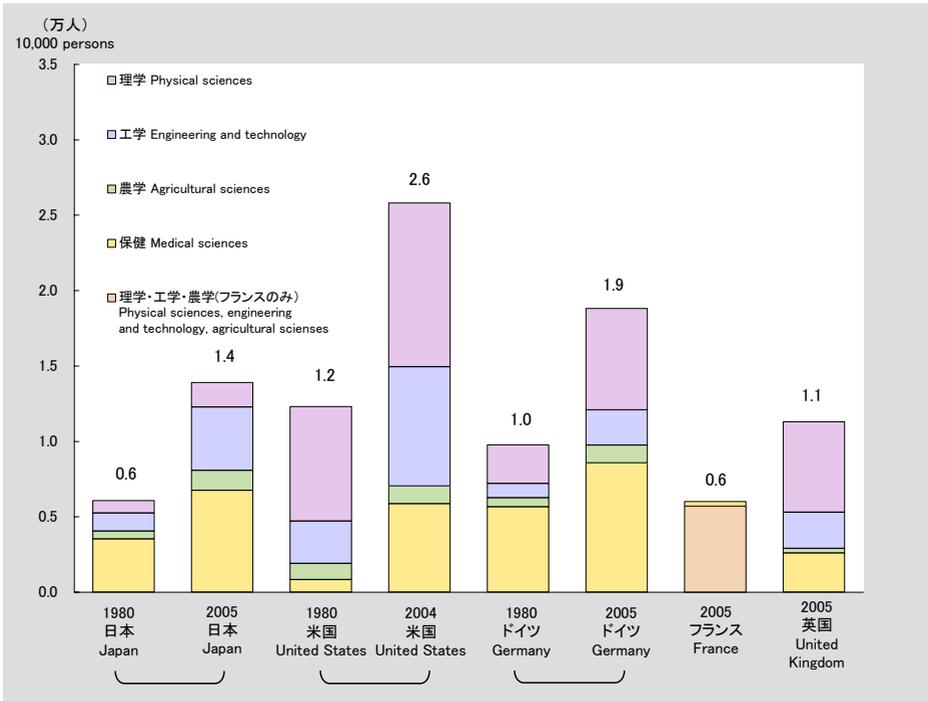
Number of awarded degrees in selected countries (Natural sciences and engineering) (Master's and doctoral degrees)



- 注) 1. (1) 全体は、修士号及び博士号の計である。ただし、ドイツは博士号のみ。米国の保健には、第一職業専門学位を含む。  
 2. ドイツの1980年度は旧西ドイツのものである。  
 3. フランスは、統計上、理学、工学、農学の区分がなされていない。  
 資料: 文部科学省「教育指標の国際比較(平成15,20年版)」

3-1-3 主要国の学位取得者数（自然科学系）（博士）

Number of awarded degrees in selected countries (Natural sciences and engineering) (Doctoral degrees)



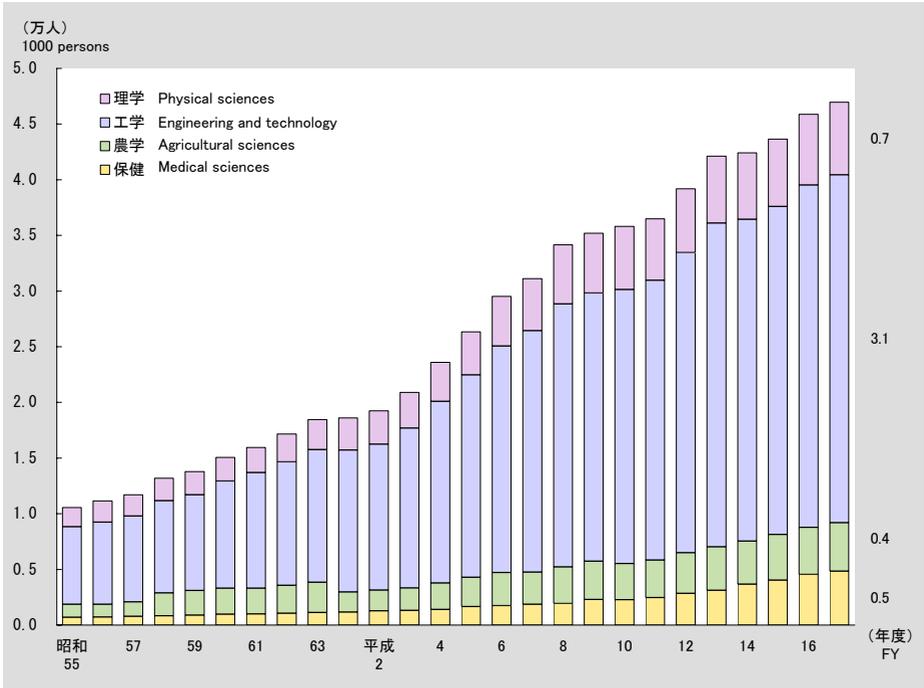
注) 1. ドイツの1980年度は旧西ドイツのものである。

2. フランスは、統計上、理学、工学、農学の区分がなされていない。

資料: 文部科学省「教育指標の国際比較(平成15,20年版)」

## 3-1-4 我が国の学位取得者数の推移（自然科学系）（修士）

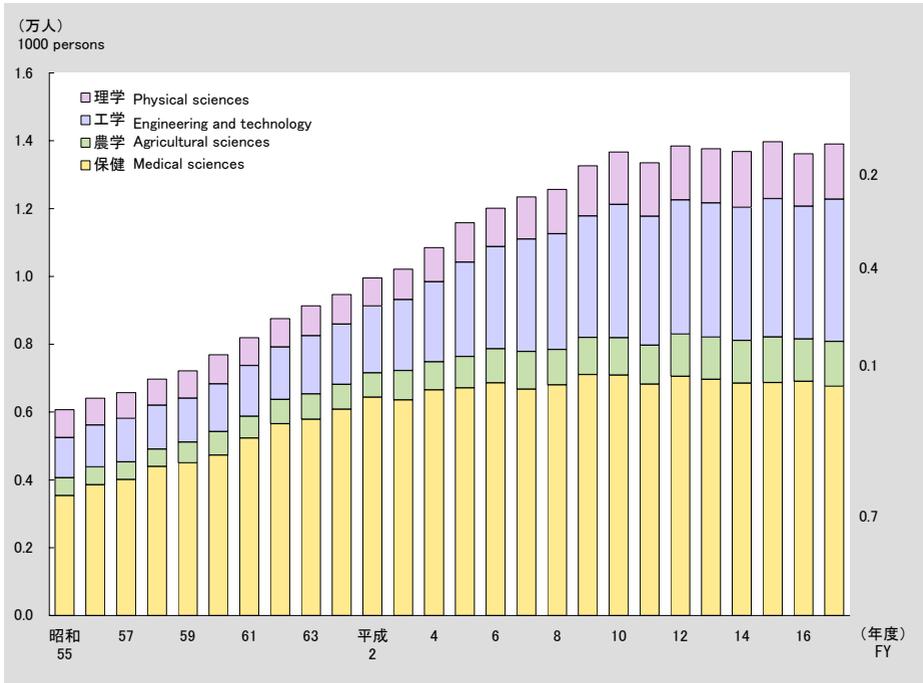
Degree trends in Japan (Natural sciences and engineering) (Master's degrees)



注) 図中の数字は平成17年度の学位取得者数である。  
 資料: 文部科学省「文部科学統計要覧(平成20年版)」

3-1-5 我が国の学位取得者数の推移（自然科学系）（博士）

Degree trends in Japan (Natural sciences and engineering) (Doctoral degrees)

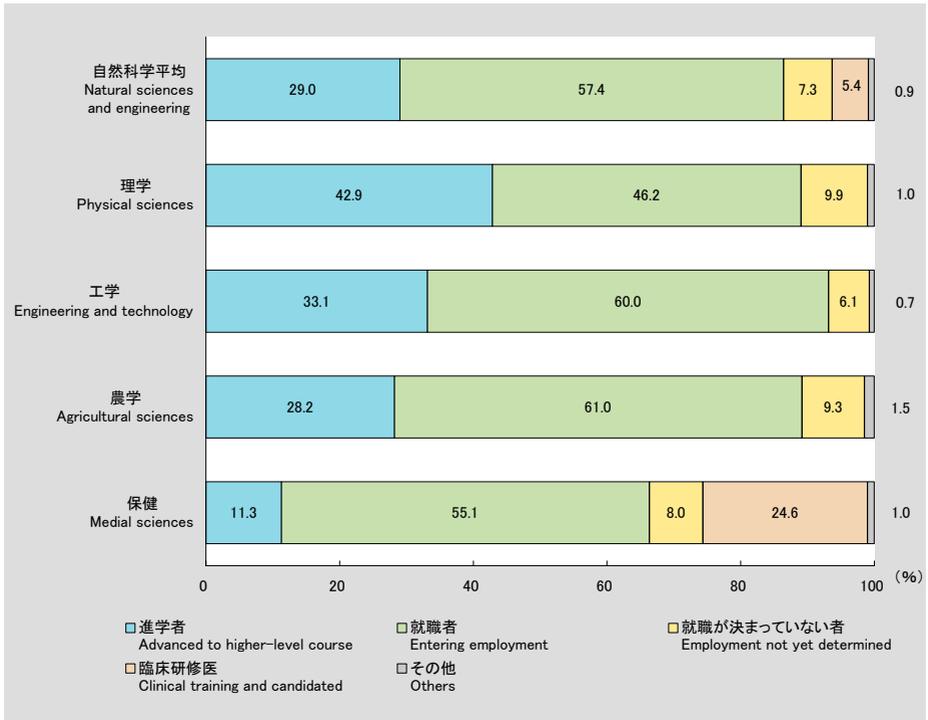


注) 図中の数字は平成17年度の学位取得者数である。  
資料: 文部科学省「文部科学統計要覧(平成20年版)」

## 3-2 研究人材の雇用 Employment of R&amp;D personnel

## 3-2-1 我が国の大学の学位別進路動向（平成19年3月）（大学卒業時）

Trends in career choice, by university degree level (March 2007) (Upon completion of bachelor's degree)



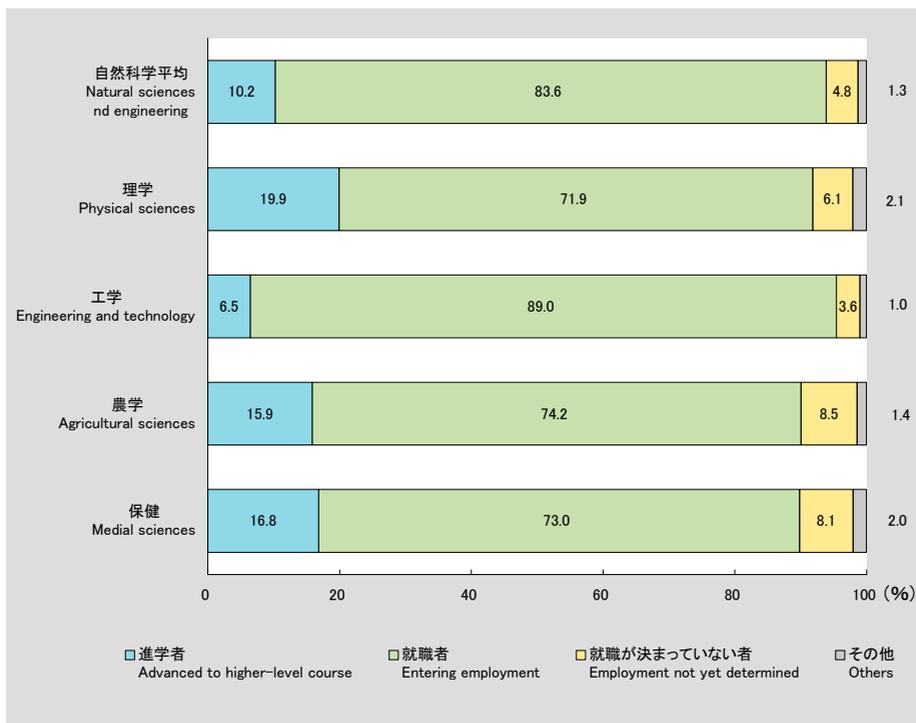
注) 1. 「自然科学平均」とは、理学・工学・農学・保健の合計の平均値である。

2. 「就職が決まっていない者」とは、一時的な仕事に就いた者、家事手伝いなどであり、研究生として学校に残っている者及び専修学校・各種学校・外国の学校・職業能力開発施設等へ入学した者でも、就職でも進学者でもないことが明らかな者である。

資料: 文部科学省「学校基本調査報告書(平成19年度)」

3-2-2 我が国の大学の学位別進路動向（平成 19 年 3 月）（修士課程終了時）

Trends in career choice, by university degree level (March 2007) (Upon completion of master's degree)



注) 1. 「自然科学平均」とは、理学・工学・農学・保健の合計の平均値である。

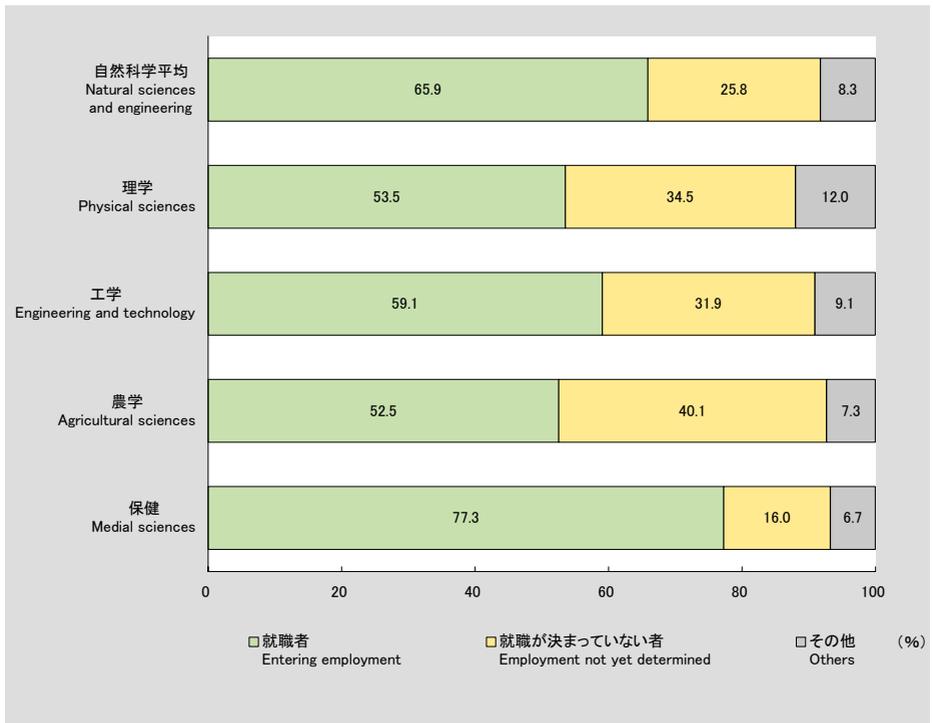
2. 「就職が決まっていない者」とは、一時的な仕事に就いた者、家事手伝いなどであり、研究生として学校に残っている者及び専修学校・各種学校・外国の学校・職業能力開発施設等へ入学した者でも、就職でも進学者でもないことが明らかかな者である。

3. 修士課程修了時の「その他」とは、死亡・不詳の者である。

資料: 文部科学省「学校基本調査報告書(平成19年度)」

## 3-2-3 我が国の大学の学位別進路動向（平成 19 年 3 月）（博士課程終了時）

Trends in career choice, by university degree level (March 2007) (Upon completion of doctoral degree)



注) 1. 「自然科学平均」とは、理学・工学・農学・保健の合計の平均値である。

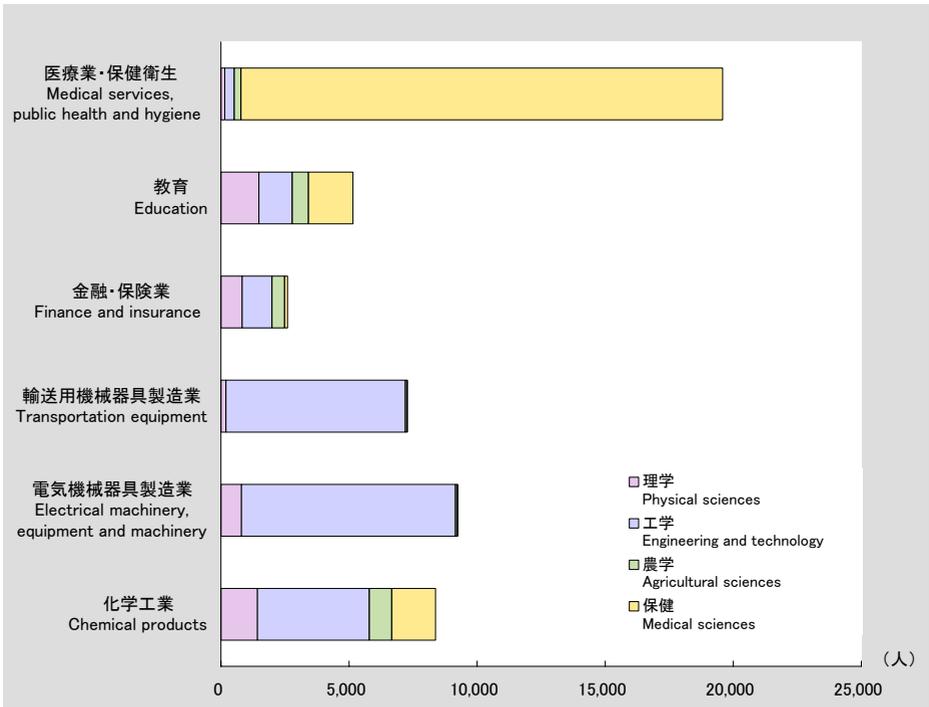
2. 「就職が決まっていない者」とは、一時的な仕事に就いた者、家事手伝いなどであり、研究生として学校に残っている者及び専修学校・各種学校・外国の学校・職業能力開発施設等へ入学した者でも、就職でも進学者でもないことが明らかな者である。

3. 博士課程修了時の「その他」とは、進学者、臨床研修医、死亡・不詳の者である。

資料: 文部科学省「学校基本調査報告書(平成19年度)」

3-2-4 我が国の主要産業における専門別採用状況（平成 19 年 3 月）

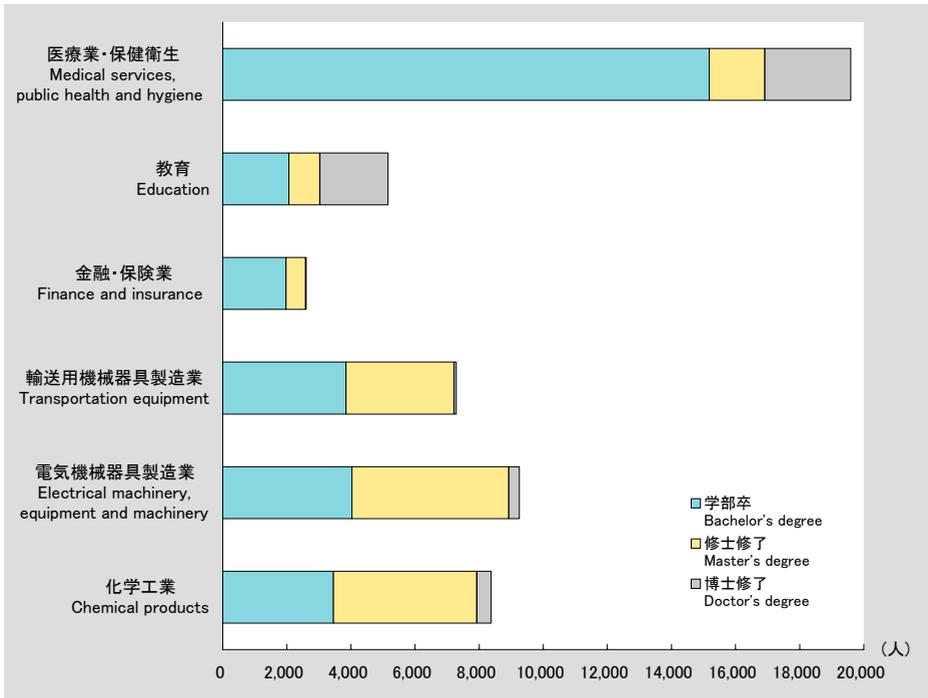
Employment situation in major industries by field of science (March 2007)



資料: 文部科学省「学校基本調査報告書(平成19年度)」

## 3-2-5 我が国の主要産業における学位別採用状況（平成 19 年 3 月）

Employment situation in major industries by academic degree (March 2007)



資料: 文部科学省「学校基本調査報告書(平成19年度)」